

愉しく
仲良く
元気よく

FU TA BA

ふたば

令和5(2023)年3月14日

校長 田村 穰

Principal MINORU TAMURA



志を持ちグローバル社会で生きぬくシカゴっ子をめざして <https://chicagojs-next.edumap.jp/>

あらた 新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事 よごと

保護者のみなさま、そして双葉会にかかわるすべての方々、新型コロナで始業式・入学式そして対面の授業ができなかった3年前から現在にいたるまで、シカゴ双葉会日本語学校全日校に様々な激励、ご支援・ご尽力をいただきました。我慢をしなければならなかった期間もありましたが、みなさまのおかげでなんとかここまでやってこられました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



冒頭の和歌は、歌人であり、「万葉集」の編纂者としても名高い大伴家持の作品です。家持は、因幡（現在の鳥取県東部）の国主であったときにこの歌を詠み、「万葉集」の最後を飾る歌として収録しました。「雪がよく降ると豊作になる」という言い伝えから生まれたようです。転じて、雪に瑞兆を託しながら、部下とともに国の前途を祝ったものとされています。

私はこの歌に、双葉会の未来を重ね、「よいこと（吉事）」が「益々（いや）」「重なる（しけ）」ことを、心から願っています。双葉会は、子どもたちはもちろんのこと、子どもたちを育てられた保護者のみなさまも、教職員も、双葉会の運営委員の方々も本当に素晴らしい、「まさに三方よし」の学校であると思っています。だからこそ、この双葉会全日校が持続可能な発展を歩んでいくことを願ってやみません。

最後に、家持の和歌の英訳を記します。（訳者：Peter MacMillan）

On this New Year's Day which falls on the first day of spring, like the snow that also falls today, may all good things pile up and up without pause or end ...

退任される先生から



3年前、パンデミックにより4月に赴任できず、夜中に日本からリモート授業をしたことが、つい昨日のこのように思い出します。様々な経験をさせていただき、今後の教員人生の財産となりました。日本を遠く離れた地で頑張っている人や子ども達がいることに、勇気を貰いました。また、アメリカの文化に触れることで、改めて日本を見つめ直すきっかけにもなりました。双葉会・JCCC・保護者の皆様、生徒達に支えられた3年間であり、感謝の気持ちでいっぱいです。シカゴ双葉会日本語学校全日校の今後の益々の発展をお祈りしております。ありがとうございました。

杉谷 久彌



この3年間は、当たり前前に学校が開き、当たり前前に子ども達と過ごせることが、どれだけ幸せなのかを感じ続ける日々でした。初めて学校で子ども達と会った日、初めて教室で学習した日、初めて手袋の上から手をつないだ日、初めて机をくっつけて班活動をした日、初めて子ども達とハイタッチをした日……どの瞬間も鮮明に思い出せます。距離は離れても心は近づけられることを、子ども達から教えてもらった3年間でした。そんな日々を積み重ねるために、保護者の皆様からたくさん支えていただきました。温かいお言葉もたくさんいただき、毎日が幸せでした。シカゴに来ることができて、本当に良かったです！大好きな場所、大好きな人がまた増えました。ここでの出会いを宝物にして、

日本でも子ども達と一緒に頑張ります。3年間、ありがとうございました。

鬼山 友美



今年度をもちまして、福岡県に帰任することになりました。2020年、アメリカや日本だけでなく世界中が大きく変わり始めた年に、このシカゴの地に降り立って早3年近くが経ちます。大きな混乱の中でも、日本から遠く離れたこのシカゴ双葉会日本語学校で、日本と変わらず子どもたちと楽しく学び、充実した時間を過ごさせていただいたことに幸せを感じる毎日でした。そして、帰国を直前に控えた今、ここに来たからこそ出会えた可愛い子どもたち、いつも支えてくださった温かい保護者の皆さまとのご縁に改めて深く感謝しております。

このすてきなシカゴ日本人学校を去ることはとても淋しいですが、日本で新たに出会う子どもたちのために前を向いて帰ります。皆さんがそれぞれに豊かな人生を歩まれますように、そしてシカゴの大地で学ぶ子どもたちの笑顔が、これからもずっと変わらず輝き続けますよう、心より願っております。3年間、ありがとうございました。

北村 麻椰



思い返せば2020年8月13日、3カ月半に渡る深夜のリモート授業を経験した後、ついにアメリカ・シカゴの地を踏むことができました。画面越しにしかいなかったその当時の2年生（現4年生）が初めて来校した日、「夢じゃない。本当にシカゴにいるんだ。」と涙が出たことを覚えています。

2021年は当時6年生（現中学1年生）の子ども達の担任をさせていただき、人生初の卒業生を送り出すことができました。双葉フェスティバル「魔法を捨てたマジョリン」や初のスプリングフィールドへの楽しかった修学旅行は、昨日のこのように思い出します。

今年は5年生の担任をさせていただき、双葉フェスティバル「友の肖像画」や交流学习、長縄記録会などで一致団結し、和気あいあいと笑いが絶えないクラスは自慢のクラスになりました。

双葉会日本語学校全日校で出会ったすべての子ども達、保護者の皆様、双葉会に関わられているすべての方との「一期一会」の出会いは、私の人生の宝物です。皆様と出会うことができたことに、心から感謝いたします。また、いつかどこかで、必ず皆様と再会できる日を願って。

Thank you very much and see you again!!

松下 美保



全日校の音楽教員に着任して7年の月日が流れました。この間貴重な経験と知識そして素晴らしい学生達、教員の方々との素敵な出会いを積み重ねてまいりました。日本人でありながら日本の義務教育の素晴らしさと厳しさを今まで何気なく知った気でしたが、時代と共に変化する教育現場や昨今の学生達の価値観や能力の高さに驚きと感動を覚えました。アメリカ生活が長くなるにつれて日本社会の「常識」や「普通」という感覚のズレなどを再確認すると同時に、指導者または演奏家として、全日校でのキャリアを今後とも生かせるよう努力し続けて参ります。保護者の皆様並びに学校関係者の皆様に深く感謝の言葉を贈りたいと存じます。7年間ありがとうございました。
ノーラン久美子

			4月			
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 新年度準備	4 新年度準備	5 新年度準備	6 新年度準備	7	8
9	10 着任式 9:00 始業式 9:25 バス集会 下校 12:10	11 入学式 10:00 下校 12:10	12 小1午前授業 (~14日)	13 入園式	14 全体保護者会 14:00~	15 補習校着任式・始業式・入学式
16	17 1日保育開始 (年中・年長) 小1バス下校開始	18	19	20 PTA 書面総会	21 避難訓練①	22
23	24 授業公開旬間 (~5/5) 小中保護者懇談会 (~5/10) 年少1日保育開始	25 1年生を迎える会	26 教育相談① PTA 執行部会①	27	28 耳目検査	29
30						

